

2026年(令和8年)4月7日(火曜日)

# 「仲間と切磋琢磨を」

東北能開大  
秋田校

## 3科39人が入校式

大館市の秋田職業能力開発短期大学校(愛称・東北能開大秋田校、奥山栄樹校長)で6日、2026年度入校式が行われ、3科39人の新生が新たな学生生活のスタートを切った。

本年度の新生は生産技術科4人、電子情報技術科18人、住居環境科17人の計39人。このうち県内出身者は3人だった。

式では新生一人一人の名前が点呼され、入校が許可された。奥山校長は「地域や国のものづくりを変える中核として活躍することを期待する。学内だけでなく、学外でも学ぶ機会があるので自分自身の世界を広げて」と激励した。

来賓祝辞に続き、新生を代表して生産技術科の高橋唯

冬(ゆいと)さん(大館桂桜高出身)が宣誓。「将来、も

のづくりの世界に身を置くことができるよう、専門的な知識や技術の習得に励む。同じ志を持つ仲間と切磋琢磨(せつさたくま)し、互いに人間性を高め合いながら成長していきたい」と抱負を述べた。



新生を代表して宣誓する高橋唯冬さん(東北能開大秋田校)